

## 局在した光と分子

北海道大学の岩佐と申します。京都大学の中田さんが代表の科研費学術変革領域 B 「光触媒協奏学～分子触媒・反応場・反応解析法の革新と協奏：CO<sub>2</sub> 光多電子還元の学理構築～」に C 班分担として加わっていますが、他のメンバーも多数ニュースレターでお見かけしているという縁もあってか、このたび寄稿の機会を頂きました。

専門は理論化学で、図 1 に示すような局在した光と分子の相互作用に関する理論研究を行っています。また、クラスター化合物や錯体の励起状態や触媒に関する計算も行っていきますが、今回は局在光に関する話をさせてもらおうと思います。・・・